

事業（主催）報告書

令和 7 (2025) 年 12 月 1 日

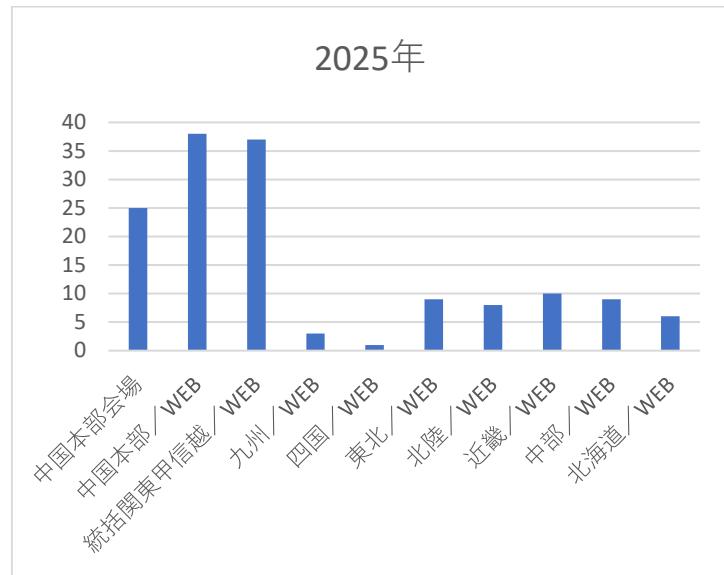
事業名称	公益社団法人日本技術士会 中国本部倫理委員会 主催 公益社団法人日本技術士会 登録 技術者倫理研究会 協力 第 5 回中国本部倫理委員会ハイブリッド講演会（第 120 回技術者倫理研究会 例会）	
開催日時	令和 7 年 11 月 22 日（土）13:00-17:00	
開催場所	第 3 ウエノヤビル 6 階 コンファレンススクエア M+	
参加人数	146 名 【内訳】中国本部会場参加（鳥取、岡山、島根会場を含む）：25 名、オンライン参加（他の地域本部含む）：121 名	CPD 時間 3 時間 50 分
事業内容	<p>本事業（主催：中国本部 倫理委員会）では、技術士、一般技術者、修習技術者（JABEE 課程修了者を含む）を対象に、「実践倫理と倫理教育を考える」というテーマで、社会で技術士倫理を実践している二人の技術士を講師に招き、ハイブリッド講演会を開催した。</p> <p>【プログラムおよび概要】司会進行：乗安 直人（倫理委員会 副委員長）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 開会挨拶：大丸 讓二（倫理委員会 委員長） 2) 講演 I : 講演者：比屋根 均（衛生工学部門/総合技術監理部門） 演題：「変化の時代の実践倫理力を考える」 3) 講演 II : 講演者：福富 弘幸（上下水道部門/総合技術監理部門） 演題：「徳山高専での倫理教育の取り組み」 4) 総合質問、総合討論 5) 閉会挨拶：橋本 義平（技術士倫理研究会） 	
備考	 <p>【講師と倫理委員会委員との集合写真】</p>	
報告者	<p>所属氏名：中国本部 倫理委員会 副委員長 川本明人 川本技術士事務所、〒737-0162 広島県呉市郷原学びの丘 2 丁目 10-3 E-mail：akito.kawamoto@nifty.com 携帯：090-1287-7010</p> <p>2 頁目を追記（大丸）</p>	

(備考 1) 開催要領について

1. 会場：(広島会場) 第3ウエノヤビル6階コンファレンススクエアM+ (30名)
 (鳥取会場) 株式会社エスジーズ鳥取支店 (10名)
 (岡山会場) 株式会社エスコ 下中野分室 会場 (10名)
 (島根会場) テクノアークしまね (24名)
2. 定員：広島会場(30名)、鳥取会場(10名)、岡山会場(20名)、島根会場(24名)
 およびオンライン(250名)
3. 対象：会場：会員、会誌購読者、学生・教職員・非会員
 オンライン：会員、会誌購読者、学生・教職員
4. 参加費：中国本部及び全国的に、会員・会誌購読者：500円、非会員：1,000円、
 学生・教職員：無料、
 なお、意見交換会：1,500円

(備考 2) 参加者の内訳 分析

	2025年
中国本部会場	25
中国本部／WEB	38
統括関東甲信越／WEB	37
九州／WEB	3
四国／WEB	1
東北／WEB	9
北陸／WEB	8
近畿／WEB	10
中部／WEB	9
北海道／WEB	6
合計	146



(備考 3) 冒頭の挨拶で 2025.10.25 熊本全国大会での中国本部からの活動報告をご紹介した。

- ① はじめに
- ② これまでの活動
- ③ ここ最近の中国本部でのセミナーの実施状況
- ④ 具体的な活動事例①:2023.11.25 九州本部と中国本部との倫理交流拡大の例
 具体的な活動事例②:2025.8.23 四国本部倫理企画にと中国本部から講師派遣
- ⑤ 中国本部倫理委員会の今後の展開と展望

なお、この資料を広島会場では配布した。

以上